

日本学術会議 化学委員会 有機化学分科会 (第 24 期・第 4 回)

日時 令和元年 5 月 29 日 (水) 9:30~10:30

会場 分子科学研究所 明大寺キャンパス 分子研研究棟 3 階 302 号室

出席委員：中村，茶谷，磯部，澤村，寺田，徳山，中西，庭山，眞鍋，横山

議題

1. 有機化学の展望，単分子有機化学の挑戦

有機化学分科会が分子研とともに 5 月 28 日に主催した公開シンポジウム「単分子有機化学の挑戦」について総括と議論を行った。

単分子計測研究において，特異な金属表面での現象をどのように溶液化学やマクロな材料物性の理解につなげるかが課題であるが，有機化学的視点から表面反応，固体触媒反応を理解，発展させることは期待できる。

2. 有機化学の展望，AI によって展開する有機化学

有機化学分野における AI の重要性や，AI 分野へ有機化学がどのように貢献できるかについて議論した。

化学教育における AI 教育の重要性を確認した。

AI 技術単体ではなく，化学において AI が使える項目を理解，習得することが重要であり，そのための課題集の作成を検討している。

人手不足を解消するためのツールとしてのみならず，サイエンスを進めるための AI 研究を行う必要がある。

3. その他

今後，取り組むべき課題について議論した。

微量サンプルによる有機小分子の同定：近年発展してきた電子顕微鏡等を用いた微量サンプルや混合物の構造決定，結晶多形の解析

分子合成センター：AI と機械による自動合成と，関連する教育を担う機関

化学委員会合同分科会は 12 月 26 日 (木) に開催予定